

## 令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会(石川) アピール

公益社団法人 日本建築士会連合会 女性委員会

全国女性建築士連絡協議会は、今年で第32回となりました。女性委員会を立ち上げられました初代の女性委員長はじめ歴代女性委員長、連合会会長および女性委員会担当副会長、各都道府県建築士会会長や女性委員会(部会)、そして事務局など多くの方々のご協力とご理解の下に継続出来たと深く御礼申し上げます。

昨年の東京大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大の中ではありましたが、全国からの会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で行いました。岩手県建築士会と福島県建築士会の青年委員長お二人にお手伝いいただき、建築士会のメンバーだけで運営を行うことに挑戦しました。今年も、石川県建築士会の皆様と東海北陸ブロックの皆様のご協力を得てハイブリット形式で開催をいたしました。

同協議会では、平成23年の東日本大震災以降、全国各地で発生しました災害状況や復興支援活動について毎回ご報告をいただいています。今年は、復興道路、復興支援道路が全線開通したことにより、東北6県がひとつになってご報告をいただきました。これからも災害報告を継続して情報を共有し、建築士としてどのような活動が必要か、共に模索してまいりたいと考えます。

さて今回のメインテーマを「守り・育て・受け継がれる技術、手仕事」とし、～伝統工芸と建築～をサブテーマにいたしました。私たち女性建築士は、受け継がれてきた伝統技術のすばらしさを学び、これからの建築づくりに活かすことが、守り育てることに繋がると考えます。

一日目の全体会では、金沢学院大学名誉教授の大場吉美氏をお迎えし、石川らしい文化でおもてなし北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による「美術館のような金沢駅」をテーマにご講演頂いた後、質疑にお答えいただきました。また、活動報告では、静岡県くらし・環境部建築安全推進課、建築耐震班長市川府元氏より、全国に先駆けて建物の耐震に取り組んでこられた静岡県の取り組みを報告していただきました。

二日目の分科会では、あつまれ～旅好き建築女子！「魅力ある和の空間ガイドブック」part5、「バリアフリーのまちづくり/みんなで考えるバリアフリー」、「いばらき木造塾」～伝統技術の継承～、「住まい・まちづくりを考えよう」小中学生の住教育出前講座、「徳島型気候風土適応住宅」基準策定への取組、「灯台が照らした未来への道すじ」の6つのテーマのもとに報告をいたしました。

それらの成果として、以下の点を今年のアピールとして発表し、発信してまいります。

1. 私たちは、今回の協議会を通し、建築士として、また、生活者としての視点から住まいづくりやまちづくりを考え、生活に潤いを与える環境づくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、建築士として、受け継がれてきた伝統技術を守り育て活かすことにより、豊かな空間づくりに取り組んでまいります。
3. 私たちは、災害報告等を通し、建築士として、被災者を思う心を忘れずに、継続して復興支援のあり方を模索し、災害時における支援活動に取り組んでまいります。
4. 私たちは、様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を活かし、安心安全な社会の実現のために日々研鑽してまいります。